

Power of
Communication
High Quality
Hospitality
Reliability
Flexibility

トライベクトルの翻訳・ローカライズ サービスにより 製品マニュアルやマーケティング資料の日本語化に成功



日本ネティーザ株式会社
 設立：2005年9月5日
 所在地：東京都渋谷区
 資本金：1000万円
 事業内容：コンピュータ製品
 の販売および
 カスタマーサポート
 URL：http://www.netezza.jp/

Web サイトの更新や DTP、印刷にもワンストップで 対応し、業務効率を大幅に向上

DWHアプライアンス製品のリーディングカンパニーである日本ネティーザでは、製品マニュアルやマーケティング用の販促物の翻訳に、トライベクトルの翻訳サービスを採用しました。翻訳の高いクオリティはもちろん、翻訳からWebサイトの更新、さらにDTP制作、印刷まで、“かゆいところに手が届く”翻訳サービスにより、翻訳の作業効率を大幅に向上し、関連コストの低減も実現しました。



マーケティング本部 部長
 潮本 敏久氏

IBMグループの1社である日本ネティーザ株式会社(以下、日本ネティーザ)は、米国Netezza, an IBM Company(Netezza)の日本法人として、2005年9月に設立されました。現在、販売パートナー各社とともに、革新的で実績のあるデータウェアハウス(DWH)アプライアンス製品を日本市場向けに展開しています。

DWHアプライアンスとは、DWH構築に必要となる主要な諸機能(データベース、サーバー、ストレージ)を超並列コンピュータ上で最適化し統合した製品です。ハードウェアやソフトウェアを別々に購入してDWHを構築することに比べ、2分の1程度のコストと3分の1程度の電力消費量で、10～100倍のパフォーマンスを発揮できるユニークな製品です。

Netezzaは、このDWHアプライアンス製品のリーディングカンパニーであり、米国では400社以上、日本国内でも約70社に導入されています。2010年11月に、IBMによる買収が完了したことで、現在はIBMグループとしてグローバルにビジネスを展開しています。

■ 2つの部門で翻訳サービスを活用

Netezzaは米国のIT企業であることから、DWHアプライアンス製品の機能や操作方法などを紹介する各種マニュアルや、カタログ、ホワイトペーパー、Webサイトのコンテンツなどの販促資料は、基本的に英語で作成されていました。そのため日本ネティーザでは、各種マニュアルや販促物などのコンテンツを、日本語に翻訳する必要に迫られていました。

この課題を解決するために日本ネティーザでは、トライベクトルの翻訳サービスを活用しています。技術本部 カスタマーサポート部 部長である村上竜二氏は、次のように語ります。「製品・サポート部門とマーケティング部門の2つの部門で翻訳サービスを活用しています。製品およびサポート部門では、主に複数の製品マニュアルを翻訳してもらっています」

“ 翻訳だけでなく、Webサイトの更新やDTP制作や印刷などの作業にも、柔軟に対応してもらえたことで、Webサイトやブローシャ制作の業務オペレーションが簡素化され、作業負担が軽減したほか、コストの削減にもつながりました ”

また、マーケティング本部 部長の湯本敏久氏は、「マーケティング部門では、翻訳サービスを使いはじめた2007年当初は、販促資料とWebサイトのコンテンツの翻訳だけをお願いしていました。しかし2008年からは、販促資料やWebサイトのコンテンツなどの翻訳から、Webサイトの更新や販促資料のDTP制作および印刷まで、依頼する業務の範囲を拡大しています」と話しています。

翻訳サービスの業務プロセスは、電子メールで翻訳を依頼して、セキュアなFTPサイトにて翻訳対象となる英語版コンテンツのやり取りを行い、日本語に翻訳されたコンテンツの社内レビューを1~2回繰り返して、最終的に翻訳されたコンテンツとして納品してもらうという流れになっています。



技術本部 カスタマーサポート部 部長
村上 電二氏

“ほかの翻訳会社が1カ月程度かかると見積もった仕事を、トライベクトルは3週間程度で対応してくれます。また大手の翻訳会社だと、お役所仕事の対応になってしまいがちですが、トライベクトルは小回りがききます”

■日本法人設立当時の社長がWebサイトで検索

トライベクトルの翻訳サービスを知ったきっかけを村上氏は、「日本法人を設立した当時の社長に紹介されたのが、トライベクトルを知ったきっかけでした。2007年11月に、製品マニュアルの一部の翻訳をお願いして、2008年初めには日本語に翻訳したマニュアルを納品してもらいました」と話します。

当時の社長は、検索サイトでいくつかの翻訳会社をピックアップし、コストやこれまでの実績を比較検討した結果、トライベクトルの翻訳サービスを利用することを決定しました。トライベクトルの翻訳サービスの採用を決めたポイントは、すでに多くのIT関連の外資系企業の翻訳を経験した豊富な実績があったことと、トライベクトルの翻訳サービスを利用中の会社の社長からも推薦されたことが理由の1つでした。

また、コスト面と翻訳のクオリティを評価したことは言うまでもありません。湯本氏は、「日本ネティーザは、ちょうど日本法人を立ち上げたばかりで、あまりマーケティング予算もなかったことから、コスト的に大手翻訳会社をお願いできない状況でした。そこで、トライベクトルの翻訳サービスは、さまざまな面でちょうどよいサイズでした」と話しています。

■翻訳の作業負荷が軽減し、関連コストも低減

IT系の翻訳には、IT系独特の言い回しがあるために、難しい側面があります。たとえば、会社名や製品名、技術名称などを翻訳してしまうと、その後の文書の意味が通じなくなってしまう恐れもあります。トライベクトルの翻訳サービスを採用した効果を湯本氏は、次のように語ります。

「トライベクトルは、IT系コンテンツの翻訳の経験が豊富なので、高いクオリティの翻訳が上がってきます。また、初稿から校了までのサイクルも短期間なので、コストパフォーマンスは非常に高いと感じています。トータルで考えても“かゆいところに手が届く”サービスであり、ほかの翻訳会社よりかなり満足度は高いです」

また、短期間での納品について村上氏は、「ほかの翻訳会社が1カ月程度かかると見積もった仕事を、トライベクトルは3週間程度で対応してくれます。また大手の翻訳会社だと、かなりお役所仕事の対応になってしまいがちですが、トライベクトルはかなり小回りのきく会社です。無理をしてもらっているのだとは思いますが……(笑)」と話します。

さらに、これまで日本ネティーザでは、Webサイトのコンテンツの翻訳は翻訳会社に、Webサイトの更新はWebサイト運営会社に別々に依頼していました。しかし、この方法では、翻訳とWebサイトの更新の間にも、オペレーションが発生してしまい、効率的とはいえませんでした。そこで、コンテンツの翻訳からWebサイトの更新、DTP制作までをワンストップで対応してもらえることが理想でした。

湯本氏は、「当初、トライベクトルでは、Webサイトの更新やDTP制作や印刷などの作業は請け負っていませんでした。しかし、相談してみると、柔軟に対応してもらうことができました。これにより、Webサイトの更新やDTP制作の業務オペレーションも簡素化され、作業負荷が軽減したほか、コスト削減にもつながりました」と語ります。

「トライベクトルは、いろいろなお願いに非常に柔軟に対応してもらえる会社です。要求に100%応えてもらえない場合でも、何とかしたいという気持ちが伝わってくるし、実際にできる範囲で対応してもらえます」と村上氏。

さらに湯本氏は、「入口は翻訳ですが、付帯する業務もかなり多くなっています。すでに、ただの翻訳会社ではないと思っています(笑)。トライベクトルにお願いして本当に良かったと思っています」と話しています。

■市場の変化へ柔軟に対応したより高いサービスを期待

今後のトライベクトルに対する期待を湯本氏は、「日本法人の設立とともに翻訳をお願いして、我々の事業拡大とともに、Webサイトの更新や販促資料のDTP制作や印刷など、柔軟に業務を拡張していただけたのは、本当に助かりました。我々と同じように翻訳を中心に派生業務までお願いしたいと考えているIT系企業は、特に外資系に多いと思うので、今後も変化に柔軟に対応しながら、より大きな会社になり、さらにサービスを向上してくれることを期待しています」と話しています。



左から湯本氏、村上氏

トライベクトル株式会社について

トライベクトルという企業名の由来である「お客様、パートナー、自社の3者間での共存共栄」を最大の目的とし、そのための手段として「分かる、伝わる」ワンランク上の翻訳・ローカライズ サービスを提供。2005年の設立から順調に成長中で「翻訳・ローカライズ サービス」をベースにあらゆるドキュメント制作、人材派遣や通訳など、コストとしてはなくベネフィットとなるクライアントファーストの各種コミュニケーションサービスを展開している。



トライベクトル株式会社

〒150-0044 東京都渋谷区円山町 25-4 加藤ビル 2階

電話：03-5459-2375

FAX：03-5459-2376

<http://www.trivector.co.jp/>